会　議　録

会議の名称	平成 19 年度　第１回文化財審議会
開催日時	平成 19 年 6 月 12 日(火)　15 時 00 分～17 時 00 分
開催場所	教育委員会　会議室
出席者	渋谷一夫委員、関健二委員、木藤隆太郎委員、大澤綾委員、水宮恒委員、 山田友昭委員 事務局（寺沢生涯学習課長、加藤主査、堀主任）
欠席者	横山亮英委員
公開・非公開	公開（傍聴人　０人）
会議次第	１．報告 (1)平成 18 年度文化財関係事業について (2)平成 19 年度文化財保護事業について (3)入間東部地区文化財保護連絡協議会総会報告 (4)大澤家住宅・表門修理工事補助事業報告 ２．協議 (1)今年度の文化財審議会計画について (2)文化財保存団体連絡協議会補助金について （3）その他
会議資料	①平成 18 年度の主要事業 ②平成 19 年度の主要事業 ③富士見市指定文化財保存管理補助金 ④平成 19 年度文化財審議会計画 ⑤社会教育施設と連携した社会科授業のあり方 ⑥遺物を活用した学校との連携 ⑦文化的景観を含めた文化財保護に関する提言
会議録確認	渋谷一夫委員

会議内容

あいさつ（議長）

1．報告

(1)平成18年度文化財保護事業について

(2)平成19年度文化財保護事業について

（委員）水子貝塚公園が「日本歴史公園100選」に選定されたが、市として市民に広く周知する方法を検討してもらいたい。

（委員）補助金等が貰いやすい等のメリットはあるのか。

（事務局）現在のところなく、名誉的な意味合いが強いようである。

(3)入間東部地区文化財保護連絡協議会総会報告

（委員）5月31日、難波田城資料館において開催された。審議会からは、渋谷議長が理事に選出された。総会後、富士見市指定文化財大澤家表門修理工事についての管内研修があった。

(4)大澤家住宅・表門修理工事報告

事務局よりスライドを使って報告。

(5)その他

南畑八幡神社獅子舞が広報ふじみ7月号に掲載される。

2．協議

(1)今年度の文化財審議会計画について

事務局より説明　年4回（6月・9月・12月・3月を予定）

協議の結果、主な内容としては　①文化財指定制度について、②指定文化財候補について、③文化財の活用についてを審議していくこととなった。

(2)文化財保存団体連絡協議会補助金について

事務局より説明

委員：補助金額の推移はどうなっているか。主な内容はどうか。

事務局：今年度は昨年度と同額である。主な内容は、道具の修繕（今年度は南畑八幡神社獅子舞保存会で実施）と各団体への後継者育成のためへの補助である

委員：全国各地でも伝統芸能団体の後継者育成は問題になっている。市内の団体でも厳しいところもあると聞いている。市としても是非援助していくことが望ましい。

審議の結果、文化財保存団体連絡協議会への補助金交付が承認された。

《意見交換》

〇学校教育における文化財の活用について

委員：生徒たちにとっては、実物は小さくても刺激になる。積極的に利用できるようにしてもらいたい。

委員：黒曜石１つをとりあげても、石器という面からだけではなく、中学になれば鉱物としての面からも学習できる。身のまわりのものから入って学習の視野を広げることができるので、ぜひ学校教育での文化財の活用をすすめてもらいたい。

事務局：学校教育との連携を進めている資料館にも伝えることとしたい。

〇文化的景観を含めた文化財保護に関する提言

委員：文化財を「点」としてとらえるのではなく、自然や景観を含めた地域という「面」として保護していくことができればと考えて、資料を作成した。鎮守の森（杜）７ヵ所・景観２ヵ所を揚げてみた。

委員：新聞記事では、国の文化審議会においても「文化財は地域再生の核」とも位置付けられ、地域にある文化的資産の活用が叫ばれている。今後は富士見市でもこうした視点が必要になってくるのではないか。

事務局：樹木や森については、天然記念物として文化財で保護する制度もあるが、緑地関係で保護してきているものもある。文化財としての一面からでは収まらないこともあるので、情報収集してから報告したい。また、国の動向についても注視していきたい。

３．その他

次回会議　9 月 11 日（火）　午後 3 時～　（予定）